



Peregrine | Connect-It  
リリースノート

---

© Copyright 2002 Peregrine Systems, Inc.

All rights reserved.

本書に記載されている情報は、Peregrine Systems, Incorporatedが所有し、Peregrine Systems, Inc.の書面による許可なく使用または開示することはできません。本書の一部または全部を、Peregrine Systems, Inc.の事前の書面による許可なく無断で複製することを禁じます。本書に記載されている商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。

Peregrine SystemsおよびConnect-Itは、Peregrine Systems, Inc.の商標です。

この製品はApache Software Foundation (<http://www.apache.org>) により開発されたソフトウェアを含んでいます。

本書で説明されているソフトウェアは、ライセンス契約または非開示契約に基づいて提供されます。これらの契約の条項に従う場合に限り、本ソフトウェアを使用またはコピーすることができます。本書に記載されている事項が予告なく変更されることがありますが、Peregrine Systems, Incは予告の義務を負いません。本書の最終バージョンの日付を確認するには、Peregrine Systems, Inc.のカスタマサポートまでお問合せください。

デモ用データベースと本書の例に使用されている団体名および個人名は架空のものであり、本ソフトウェアの使用方法を説明するためのものです。現在、過去を問わず、実在する団体や個人とのいかなる類似もまったくの偶然によるものです。

本製品に関する技術情報の請求、またはライセンスをお持ちの製品に関するマニュアル類の請求については、Peregrine Systemsのカスタマサポート ([support@peregrine.com](mailto:support@peregrine.com)) までお寄せください。

本マニュアルに関するご意見やご要望は、Peregrine Systems, Inc.の出版部 ([doc\\_comments@peregrine.com](mailto:doc_comments@peregrine.com)) までお寄せください。

本書の内容は、ライセンス契約に基づくプログラムのバージョン3.2.0に適用されます。

Connect-It

Peregrine Systems, Inc.  
Worldwide Corporate Campus and Executive Briefing Center  
3611 Valley Centre Drive San Diego, CA 92130  
Tel 800.638.5231 or 858.481.5000  
Fax 858.481.1751  
[www.peregrine.com](http://www.peregrine.com)



# 目次

はじめに . . . . .	5
1. 本書の内容 . . . . .	7
2. 新規機能 . . . . .	9
マニュアルに関する注意事項 . . . . .	9
アプリケーション . . . . .	10
Action Request Systemコネクタに関する補足情報 . . . . .	25
3. 改善された問題点の一覧 . . . . .	27
バージョン3.2.0 . . . . .	27
バージョン3.1.0 . . . . .	30
バージョン3.0.1 . . . . .	33
バージョン3.0.0 . . . . .	35
バージョン2.7.1 . . . . .	38
バージョン2.70 . . . . .	39
履歴 - バージョン2.60 . . . . .	42
バージョン2.51 . . . . .	44
バージョン2.50 . . . . .	45
バージョン2.10 . . . . .	47

4. お問い合わせ先 . . . . . 49

# はじめに

---

Connect-It 3.2.0は、旧バージョンの数多くの問題点を訂正し、新機能を搭載したメンテナンスバージョンです。

このリリースノートの内容はConnect-It 3.2.0の新規機能の概要です。本書には新規機能と、2.51、2.60、2.70、2.7.1、3.0.0、3.1.0と3.2.0バージョンで訂正されたバグが記載されています。

本書またはその他のConnect-Itマニュアルに記載されていない最新情報については、Connect-Itのインストール先フォルダに入っている「Readme.txt」ファイルを参照してください。



# 1 | 本書の内容

---

本書の内容は以下の通りです。

- 追加された新規機能の概要
- 改善された問題点の一覧
- 詳細についてのお問い合わせ先



## 2 | 新規機能

---

Connect-It 3.2.0には以下の分野で新規機能が追加されています。

### マニュアルに関する注意事項

---

 注意:

付属のConnect-Itのオンラインヘルプは、HTMLファイル形式でコンパイルされています。このオンラインヘルプを表示するには、Internet Explorerバージョン4.0（またはそれ以上）がインストールされていなければなりません。Internet Explorerバージョン4.0（またはそれ以上）がインストールされているにも関わらず、オンラインヘルプを起動できない場合は、重要な「dll」ファイルが壊れているかまたは不在である可能性があります。詳細は、MicrosoftのWebサイト <http://www.microsoft.com>を参照してください。

Connect-It日本語版：ユーザガイドとプログラム用参考ガイドは日本語版で提供されています。他のマニュアルは英語版です。

3.2.0バージョンでは『Predefined scenarios（既製シナリオ）』マニュアルは提供されていません。このマニュアルの情報は、Connect-ItのUIで自動的に作成できるようになっています。詳細についてはConnect-Itの『ユーザガイド』を参照してください。

コネクタに関する情報は、『ユーザガイド』からマニュアル『コネクタ』に移されました。

## アプリケーション

以下の分野で問題点が改善されています。

## バージョン3.2.0

---

 注意:

括弧間のコードは追加機能の番号に当たります。

---

### 新規コネクタ

- SAP BAPIコネクタ
- SAP IDOCコネクタ
- Tivoli Configuration Management for Inventory 4.2コネクタ (RFP814181752)
- Peregrine Desktop Administration 6.xコネクタ

### エンジン

- 識別キーの複数のキーセットを定義できます。
- コネクタのお気に入りの設定 (RFP34185244)
- 処理レポートの導入用ウィザード (RFP1231749)
- セッションの開始と終了時にBasicスクリプトを実行できます (RFP329135214、RFP612195137)。
- ドキュメントタイプの編集ウィンドウで「検索」機能を使用できます。
- マッピングの編集ウィンドウで「検索」と「置換」機能を使用できます。
- シナリオ文書にビューが追加されています。
- シナリオ文書の生成用ドキュメントタイプに適用されるフィルタ条件が、追加されています (RFP7129259)。
- 新規マッピングをどのビューに関連付けるかを選択するためのコントロールが、アイコンバーに追加されています。
- Connect-Itのグラフィカルインタフェースへ、エクスプローラからシナリオをドラッグアンドドロップして、シナリオを読み込むことができます。

## Action Request Systemコネクタ

- AIX 5プラットフォームをサポートします。

## XMLコネクタ

- XSD ( Extended Schema Definition ) をサポートします。
- 処理するファイルやフォルダのリストを指定できます。
- XMLファイルの読み取りから発するドキュメントのルート要素が、ドキュメントの基となるドキュメントタイプのルート要素に対応しない場合、ファイルをオプションで無視できます ( RFP92721856 )。

## Eメールコネクタ

- コネクタの設定ウィザード内で接続テストを実行できます。
- ISO-2022-JPコードページのサポート ( RFP418174926 )
- XMLフォーマットの添付ファイルを処理できるようになります ( RFP92721856 )。

## ServiceCenterコネクタ

- イベントの処理に成功した場合、ServiceCenterに挿入されたイベントに関連付けられたメッセージを取得します ( RFP613175216 )。
- フィールドのインデックスを表示できます。
- イベントが非同期モードに設定されている場合、警告メッセージを表示しないようにするオプションがあります ( RFP12317046 )。

## テキストコネクタ

- テキストファイルの記述よりも列が多いまたは少ない場合、エラーを発生させるかどうかを、設定ウィザードで指定できます ( RFP123165651 )。
- 生成用ドキュメントタイプ内に、ファイルの現在の行を追加できます ( RFP123165717、RFP34185045 )。
- 処理するファイルやフォルダのリストを指定できます。

## NTセキュリティコネクタ

- あるドメインのコンピュータのリストを取得するための、ドメインコントロールの使用オプション

## Peregrine Desktop Inventoryコネクタ

- 処理するファイルやフォルダのリストを指定できます。

## データベースコネクタ

- DB2のネイティブ接続のサポート ( RFP5913469 )
- NULL値の管理
- NULL値での整合性チェックを許可するオプションが追加されています。

## MQSeriesコネクタ

- コネクタの設定ウィザード内で接続テストを実行できます。
- OS/390プラットフォームにインストールされたサーバへの接続オプション

## Lotus Notesコネクタ

- フォーマットされたフィールドに書き込む場合、使用する文字のフォントを選択できます ( RFP115114625 )。
- どのフォームであるかに関わらず、データベースで定義されたフィールドを直接表示するモードが追加されています。

## TS Censusコネクタ

- Tally System Census 1.4のサポート

## Basic関数

以下のBasic関数が追加されました。

- GetEnv()
- PifSetNullVal()
- PifDateToTimeZone()

## シナリオ

以下のシナリオが追加されました。

- Peregrine Desktop Inventory - Asset Management 3.51シナリオ ( RFP88102350、RFP9181883 )
- Peregrine Desktop Inventory - Asset Management 3.6シナリオ
- Peregrine Desktop Inventory - Asset Management 4.0シナリオ
- Peregrine Desktop Inventory - Asset Management 4.2シナリオ
- InfraTools Desktop Discovery - Asset Management 4.2シナリオ
- NTセキュリティ - InfraTools Management 5シナリオ
- Tivoli Inventory 4.0 - Asset Management 4.1 シナリオ ( RFP829135132 )
- Tivoli Inventory 4.0 - Asset Management 4.2シナリオ
- Tivoli CM for Inventory 4.2 - Asset Management 4.1シナリオ

## バージョン3.1.0

### プラットフォーム

- AIX 5がサポートされています。AIXをサポートするコネクタの一覧については、動作環境の表を参照してください。

### 新規コネクタ

- Webサービスコネクタ
- Peregrine Desktop Inventoryコネクタ

### エンジン

- シナリオ図内でビューを定義できます。【全体図】と【例外】のデフォルトのビューがあります。
- 処理レポートでドキュメントタイプの識別子が表示されます。
- 外部アプリケーションが提供する現在の日付と時刻に関連付けられたタイムゾーンを、コネクタの設定ウィザード内で指定できます。
- マッピングボックス内で適用された順番で、シナリオ文書の要素を配置します。

### Action Request Systemコネクタ

- 日本語をサポートします。
- SolarisとLinuxプラットフォームをサポートします。
- Diary型のフィールドを特殊処理します。

### Eメールコネクタ

- 処理後のアクション（成功とエラー）を適用するために処理レポートを使用します。例：Eメールに開封済みのフラグをつけるか、または削除します。

### ServiceCenterコネクタ

- ServiceCenter内に添付ファイルを書き込みます。
- ServiceCenterバージョン5.0をサポートします。

### MQSeriesコネクタ

- 処理レポート内に、挿入されたドキュメントに関する情報（MQSeriesメッセージの識別子など）が追加されました。

- MQWorkflowとの統合

## コマンドラインコネクタ

- 処理レポート内で、リターンコードとエラー/出力ストリームを管理します。

## Tivoli Inventoryコネクタ

- Tivoli Inventory 4.2をサポートします。

## XMLコネクタ

- マッピングボックスから、出力ファイルの名前を定義できます。
- HTTPSプロトコルでクライアント証明書とサーバ証明書をサポートします。

## テキストコネクタ

- マッピングボックスから、出力ファイルの名前を定義できます。
- 用例ファイルの第1行目に列の名前が含まれている場合、書式設定 (DSC) ファイルは自動的に生成されます。
- 書式設定ファイルの設定ウィザードで、用例ファイルをプレビューできます。
- HTTPSプロトコルでクライアント証明書とサーバ証明書をサポートします。

## Lotus Notesコネクタ

- Notesサブフォームの管理

## InfraTools Network Discoveryコネクタ

- InfraTools Network Discovery 4.3をサポートします。

## バージョン3.0.1

### エンジン

- コネクタの処理レポート内に、処理に関する情報が追加されました。

### 新規コネクタ

- Intel LANDesk 6.5コネクタ

## InfraTools Desktop Discoveryコネクタ

- サブフォルダでの「.fsf」ファイルの読み取りオプションがあります。

## MQSeriesコネクタ

- 非拡張接続のサポート (MQCONN)

## XMLコネクタ

- XMLコネクタが現在処理しているファイル名を表示します。

## データベースコネクタ

- MySQLデータベースエンジンをネイティブサポートします。

## Tivoli Enterprise Consoleコネクタ

- Tivoli Enterprise Console AIXとHP-UXプラットフォームをサポートします。

## テキストコネクタ

以下のオプションが追加されました。

- 処理開始の行番号
- エスケープ文字
- コメントの開始文字
- 文字列を区切る文字
- コネクタが読み取る値の前後のスペースを削除する

## Java SDK

- 新規機能の詳細については、テクノートTN326221125を参照してください。

## Basic関数

Basic関数PifCreateDynaMapTable()、PifCloseODBCDatabase()とPifExecODBCSql()は、Connect-It本バージョンではサポートされません。PifQuery\*系のBasic関数がこれらの関数を代用した上で、機能を更に拡張しています。詳細については、Connect-It付属の『プログラム用参考ガイド』を参照してください。

## バージョン3.0.0

### プラットフォーム

- Windows XP Professionalをサポートします（ユーザがコンピュータの管理権限を有する場合のみです）。

### 言語

- スペイン語版のユーザインタフェースが追加提供されています。

### Java SDK

- ユーザは、Connect-ItのJava SDK（開発キット）を使用して独自のコネクタを作成できるようになっています。

### エンジン

- HTMLフォーマットのシナリオ文書を表示できます。
- HTMLフォーマットとDocBookフォーマットでシナリオ文書を自動作成できます。
- ユーザがカスタマイズしたXSLスタイルシートを、シナリオ文書の作成時に使用できます。
- シナリオ図をコピーできます。
- シナリオ図を印刷できます。
- スケジュールのポインタの使用をオフにできます。
- テストモード（コネクタへの書き込みなしでのシナリオ実行、またはコネクタがサポートする場合は、トランザクションの自動ロールバックを使用したシナリオ実行）をツールバーから実行できます。
- オフラインでの作業をツールバーから実行できます。
- シナリオ図の表示 / 非表示をツールバーから選択できます。
- ツールボックスの表示 / 非表示をツールバーから選択できます。
- マッピングボックスで、マップされていないドキュメントタイプにフィルタを適用できます。
- Connect-Itコンソール内で、サービスに関連付けられたLOGファイルの名前を入力できます。
- データベース型コネクタの設定ウィザード内で接続テストを実行できます。
- マッピングウィンドウ内で、マッピングスクリプトの説明用タブが追加されました。
- 処理の実行結果内に表示される情報が増えました。

- シナリオビルダのグラフィカルインタフェース内のウィンドウは、ドッキング可能です。
- シナリオの履歴を管理できます。

## 新規コネクタ

- Tivoli Enterprise Console (送信と受信)
- SCAutoリスニングコネクタ
- XMLリスニングコネクタ

## InfraTools Desktop Discoveryコネクタ

- 「.fsf」ファイルを複数のフォルダから読み取ることができます。

## ServiceCenterコネクタ

- Blobを読み取ることができます。

## LDAPコネクタ

- LDAPサーバ内への書き込みがサポートされています。
- LDAPサーバのコードページを指定できます。

## XMLコネクタ

- 圧縮XMLファイル (gzip 1.2.4) を読み取ることができます。

## テキストコネクタ

- 圧縮テキストファイル (gzip 1.2.4) を読み取ることができます。

## Asset Managementコネクタ

- プロパティのウィンドウ内でリストデータの値を表示できます。

## Basic関数

以下のBasic関数が追加されました。

- PifIgnoreCollectionMapping
- FileExists

## バージョン2.7.1

### ServiceCenterコネクタ

- サーバとの接続が切断された場合、自動的に再接続されます。

### Action Request Systemコネクタ

- サーバとの接続が切断された場合、自動的に再接続されます。
- 設定ウィザード内でポート番号とRPCサーバ番号を指定できます。

### データベースコネクタ

- サーバとの接続が切断された場合、自動的に再接続されます。

## バージョン2.70

### エンジン

- Connect-Itのグラフィカルインターフェイスは、日本語版、ドイツ語版、イタリア語版とポーランド語版で提供されています。
- マッピングボックスでのスクリプトのシンタックスの検証
- マッピング部分のコピー / 貼り付け
- シナリオに関連したファイル (文字列ファイル、マップテーブル、Basic関数とユーザフォーマット) の自動読み込み
- ソースとターゲットで同名の構造体とコレクションの要素を自動的にマッピングできます。
- デフォルトのスケジューラ (「同期」) が追加されています。
- シナリオの実行中に一時停止できます。
- ソースコネクタとターゲットコネクタのデータをマッピングボックスから表示できます。
- 起動時に [ ご存知でしたか? ] が表示されます。
- オフラインモードでは、外部アプリケーションへ接続せずにシナリオエディタを編集できます。
- テストモードでは、ターゲットコネクタにデータを送信せずにシナリオをテストできます。コネクタがトランザクションをサポートする場合は、データの挿入が実行された後トランザクションがロールバックされます。
- ユーザは、ソースコネクタで定義された各ドキュメントタイプ用に生成されるドキュメントの数を、オプションで一定数に制限できます。

## 新規コネクタ

- Action Request System (R)コネクタ
- Tivoli Inventory 4.0インベントリコネクタ
- Unicenter AMOインベントリコネクタ
- WinPark Actimaインベントリコネクタ
- MQSeriesコネクタ
- インベントリゲートウェイ3.xコネクタは以下をサポートします。
  - D2M Netbird
  - LAN Auditor
  - Novell Manage Wise
  - Novell ZENWorks
  - Tally NetCensus
  - Tivoli Inventory
  - Veritas Winland

## Basic関数

- シナリオのコネクタ用のクエリ
  - PifNewQueryFromXML,
  - PifNewQueryFromFmtName,
  - PifQueryNext,
  - PifQueryClose,
  - PifQueryGetStringVal,
  - PifQueryGetLongVal,
  - PifQueryGetIntVal,
  - PifQueryGetDoubleVal,
  - PifQueryGetDateVal
- 暗号化
  - PifCryptPassword,
  - PifCryptReversPassword

## Asset Managementコネクタ

- ドキュメントのグループごとにトランザクションをサポートします。

## データベースコネクタ

- ドキュメントのグループごとにトランザクションをサポートします。
- SYBASEのネイティブサポート

- コレクションの整合性チェック

## 全インベントリコネクタ

- SYBASEのネイティブサポート

## LDAPコネクタ

- 自動再接続機能
- ページ編集機能 ( 1.2.840.113556.1.4.319 ) のサポート
- スケジュールモードでは、ディレクトリ項目の変更日に基づいてポイントを管理できます。

## Eメールコネクタ (受信)

- 読み取られるメッセージの取得オプション
- メール処理後に開封済みのフラグをつけるオプション

## XMLコネクタ

- XML DOMパーサの代わりにXML SAXパーサが使用されます。

## InfraTools Network Discoveryコネクタ

- XML DOMパーサの代わりにXML SAXパーサが使用されます。

## ピボットフォーマット

- ピボットフォーマットのサポートが拡張されています。

## バージョン2.60

### エンジン

- ピボットドキュメントタイプ: ピボットドキュメントタイプは標準のデータ構造 (ソフトウェア、資産、従業員など) を定義します。ソースコネクタとターゲットコネクタにピボットドキュメントタイプに関連付けられ、既製のマッピングが存在する場合は、マッピングボックスを新規に設定せずに、これら2つのコネクタ間のシナリオを作成し、データを交換することが可能です。
- 非グラフィカルモードでのUnix ( SolarisとLinux ) サポート

- サービス管理用コンソール：サービスコンソールは、シナリオエディタのグラフィカルインターフェイスとは別の実行可能ファイルの形で、Connect-It サービスを管理します。サービスコンソールは主に、サービスの作成と削除、またサービス実行のトラッキングを行います。コンソールはWindows環境下でのみ使用可能です。
- コネクタの使用可能なドキュメントタイプのキャッシュ：キャッシュは、Asset Management、InfraTools Management、ServiceCenter、Network Discovery、データベース、LDAPコネクタと全てのインベントリコネクタに追加されました。キャッシュは、コネクタの使用可能なドキュメントタイプを格納します。コネクタを最初に開く時にキャッシュが作成されると、その後コネクタを開く度にそのキャッシュが直接使用されます。
- 文字列の解析：数値、日付、または通貨のフォーマット用の文字列を解析するために、一般的なフォーマットを定義することができます。これらのフォーマットは、マッピングスクリプトで文字列を数値（または日付）に変換したり、または数値や日付を文字列に変換したりするために使用されます。この機能に関する詳細はConnect-It 『ユーザガイド』と、『プログラム用参考ガイド』（"Programmer's Reference"）を参照してください。
- グラフィカルインターフェイスの改善：コネクタまたはマッピングボックスをダブルクリックすると、ドキュメントタイプの選択用ウィンドウまたはマッピング用ウィンドウが表示されます。
- Informixデータベースエンジンに外部結合を使用できるようになりました。

## 新規コネクタ

以下の新規コネクタが追加されました。

- Asset Insightインベントリコネクタ
- TS Censusインベントリコネクタ
- PDA Inventoryコネクタ
- FacilityCenterコネクタ
- TeleCenterコネクタ

## Basic関数

以下のBasic関数が追加されました。

- PifUserFmtStrToVar,
- PifUserFmtVarToStr,
- PifGetElementCount,
- PifGetElementChildName,
- PifSetStringVal,
- PifSetLongVal,
- PifSetDoubleVal,

- PifSetDateVal.

 **注意:**

関数に関する詳細は、Connect-Itの『プログラム用参考ガイド』を参照してください。

## Eメールコネクタ

- Eメールコネクタに送信されたメール用の受信確認フラグ

## NTセキュリティコネクタ

- NTセキュリティコネクタには、新規の使用可能なドキュメントタイプがあります。

## テキストコネクタとXMLコネクタ

- HTTPプロトコルに加え、更にHTTPSプロトコルがサポートされます。

## Asset Managementコネクタ

- 読み取りモードで特殊（集計）フィールドが使用可能です。
- Connect-It旧バージョンでは、整合性チェックには[更新または挿入]、[挿入のみ（見つからない場合はエラー）]、[更新のみ（見つからない場合はエラー）]、[削除（見つからない場合はエラー）]のオプションのみが使用可能でした。新バージョンでは、整合性チェックの方法とエラーメッセージを送信するかどうかのオプションを、別々に指定できます。

## InfraTools Managementコネクタ

- 読み取りモードで特殊（集計）フィールドが使用可能です。

## データベースコネクタ

- Connect-It旧バージョンでは、整合性チェックには[更新または挿入]、[挿入のみ（見つからない場合はエラー）]、[更新のみ（見つからない場合はエラー）]、[削除（見つからない場合はエラー）]のオプションのみが使用可能でした。新バージョンでは、整合性チェックの方法とエラーメッセージを送信するかどうかのオプションを、別々に指定できます。

## バージョン2.51

### ServiceCenterコネクタ

- ServiceCenterバージョン4.0をサポートします。

### インストールとライセンス

- 全てのコネクタはConnect-Itのインストール用CDに入っています。ペレグリンシステムズのカスタマーサポートが発行する認証証明書により、登録されているコネクタが使用可能になります。

### エンジン

- ドキュメントの取り込み用に設定されているコネクタには、「Process Report」という使用可能なドキュメントタイプがあります。これには、受信されたドキュメントの処理に関する情報（エラー、警告または成功）が含まれています。

## バージョン2.50

### Asset Managementコネクタ

Asset Managementコネクタでは以下の点が改善されました。

- サーバとの接続が切断された場合、Asset Managementコネクタには自動再接続機能があります。
- レコードの更新時には、フィールドの以前の値に新規の値を追加することができます。旧バージョンでは値の置換のみが可能でした。
- コレクションの整合性チェックの場合、見つからない要素にオプションでフラグをつけることができます。旧バージョンでは、見つからない要素を削除することしかできませんでした。
- 読み取りと書き込みモードで、リンク型の任意管理項目を処理できます。
- Asset Managementアプリケーション（例：AssetCenter）のAPI DLLは提供されません。外部アプリケーションのDLLは直接使用されます。

### エンジン

Connect-Itエンジンでは以下の点が改善されました。

- 処理されたドキュメントと保存されたドキュメントを読み込むことができます。再び使用することも可能です。
- オプションの集中管理

- データのプレビュー
- マッピングを使用可能（アクティブ）または使用不可能にできます。
- コネクタの設定ウィザードに高度な設定ウィザードモードが追加されました。
- シナリオ作成用のウィザード
- 2つのコネクタを直接つなげると、自動的にマッピングボックスが作成されます。
- 右クリックによるショートカットメニューと、ダブルクリックによるアクションが追加されました。
- 新規の既製Basic関数が追加されました。

## InfraTools Network Discoveryコネクタ

InfraTools Network Discoveryコネクタでは以下の点が改善されました。

- コネクタはInfraTools Network Discoveryバージョン4.0をサポートしています。

## データベースコネクタ（旧バージョンのODBCコネクタ）

データベースコネクタでは以下の点が改善されました。

- コネクタは読み取りモードに加えて、整合性チェック（ODBCデータソース内への書き込み）をサポートします。
- 整合性チェックで大文字小文字を区別するか、または区別しないかを選択するオプションがあります。
- 追加コネクタは、Oracle ODBCドライバを使用せずに、Oracleデータベースのネイティブサポートを統合します。
- テーブル間の結合を定義することが可能になり、またドキュメントレベルで整合性チェックのオプションを選択できるようになっています（リンクが拒否されたらドキュメントを拒否する、など）。

## 新規の標準コネクタ

以下の新規コネクタが追加されました。

- InfraTools Managementコネクタが追加されました。このコネクタにより、InfraTools Managementデータベースの読み取りと書き込みが可能になります。
- NTセキュリティコネクタが追加されました。このコネクタにより、NTドメイン上に登録されているユーザ、コンピュータとユーザグループの情報を取得できます（管理者権限が必要です）。
- コマンドラインコネクタが追加されました。このコネクタにより、ターゲットコネクタでコマンドを実行し、ソースコネクタでコマンド実行の戻り値を取得できるようになります。
- テキストコネクタ：このコネクタにより、ファイル内のデータを読み取り、ファイルにデータを書き込むことができます。ファイルのフォーマットは区

切り文字で区切られた値のリストです。ローカルまたは共有ディレクトリ内で、ファイルの読み取り / 書き込みが可能です。

以下のオプションコネクタが追加されました。

- Lotus Notesコネクタ：このコネクタにより、Lotus Notesデータベース内での読み取りと書き込みが可能になります。
- Eメールコネクタ：このコネクタにより、POP3、VIMまたはMAPIプロトコルをサポートするメールサーバ上で、メールを送信または受信できます。
- XMLコネクタ：このコネクタにより、XMLドキュメントの読み取りまたは書き込みを実行できます。ローカルまたは共有ディレクトリ内で、ファイルの読み取り / 書き込みが可能です。
- Intel LANDeskコネクタ
- Tivoli Inventory Managementコネクタ

## Action Request Systemコネクタに関する補足情報

Action Request Systemコネクタの使用中に発生する問題を解決するための情報は、以下の通りです。

### ダイナミックライブラリ

Action Request Systemコネクタは複数のダイナミックライブラリを必要とします。ダイナミックライブラリがシステムのパス内に見つからないと、エラーが発生します。この問題を解決するには、下記の「.dll」ファイルを、Connect-Itのインストール先フォルダの「bin32」フォルダにコピーする必要があります。これらのファイルは原則として、Action Request Systemのインストール先フォルダのサブフォルダ内にあります。

- arapi45.dll
- arrpc45.dll
- aruti45.dll
- arcatalog\_eng.dll

### 日時の変換

Action Request Systemシナリオをスケジュールモードで実行する場合、変換の問題のためにWHERE句が拒否されることがあります。一般的にこの問題は、Action Request Systemサーバがシナリオを実行するコンピュータと同じ日時設定を使用しない場合に起こります。この問題を回避するには、日時用のユーザフォーマットを定義する必要があります。

- 1 以下の定義でARSScheduleTimeStampFormatという名のユーザフォーマットを作成します。

```
yyyy' 'mm' 'dd' 'hh':'nn':'ss
```

- 2 「../config/ars」フォルダ内の「condsc.dsc」ファイルを編集します。POINTER\_USER\_FMT=ARSScheduleTimeStampFormatという項目を追加します。

```
{ CONNECTORDESC  
INTERNALNAME=ARS  
PARENTINTERNALNAME=Peregrine  
.....  
DB_DESC_FILE=arsdb.cfg  
POINTER_USER_FMT=ARSScheduleTimeStampFormat  
}
```

- 3 このユーザフォーマットを含むファイルを、Action Request Systemコネクタを使用する全シナリオに追加します。

# 3 | 改善された問題点の一覧

Connect-It 3.2.0で修正された欠陥点は、以下の表にまとめられています。

表には2つの見出しがあります。

- 欠陥番号：この番号を使って、修正された欠陥（または追加された機能）を簡単に見つけることができます。
- 詳細：欠陥または追加機能に関する簡単な説明

## バージョン3.2.0

欠陥番号	説明
AM1025125332	付属シナリオのパスをconitsvc（サービス）引数で指定するために、UNCパスを使用することができない。
AM1112183226	Action Request Systemコネクタがロングテキストフィールドタイプの要素を挿入する際に、エラーが発生する。
AM104155040	Asset Managementコネクタがアポストロフ文字を含む完全名で整合性チェックを行うと、エラーが発生する。

欠陥番号	説明
AM91710497	マッピングスクリプトが親ドキュメントを参照すると(\$ParentDoc\$)、コレクションからコレクションへのマッピングを適用できない。
AM11814440	Connect-It日本語版で、Accessデータベースへ接続するように設定されているデータベースコネクタを開くと、エラーが発生する。
AM102141137	DB2データベースへの接続テストで、パスワードがそのまま表示される。
AM102215041	MIMEシンタックス "format=flowed" は、POP3プロトコルのEメールコネクタではサポートされていない。
AM1113152810	マッピングボックスでドキュメントが拒否されていても、処理レポートの "Success" 要素は「1」である。
AM111312339	複数継承がサポートされているにも関わらず、TECコネクタの設定ファイルは、複数継承がサポートされていないと表示する。
AM1011193212	16ビット整数タイプの要素がSolarisプラットフォームのマッピングスクリプトで使用されると、値は常に0になる。
AM115113054	Lotus Notesコネクタが書き込む場合、ロングテキストフィールドは、既存テキストを上書きする代わりに、既存テキストと結合される。
AM108191415	Action Request Systemコネクタの <b>高度な設定</b> ページのパラメータのリストは、複数の値を含んでいる場合、正常に保存されない。
AM829175652	Eメールコネクタが空の添付ファイルを取得する際に、エラーメッセージが発生する。
AM101183228	複数のマッピングが、同じソースドキュメントに適用されていると、テキストコネクタが書き込む際にファイルの名前付けエラーが発生する。
AM924141144	ソースドキュメントがマッピングボックスに拒否されると、エラーアイコンが表示される。

欠陥番号	説明
AM924135458	"Logs" コレクションの要素は、マッピングボックスが生成する処理レポートには表示されない。
AM91819028	Connect-Itの起動時に、タスクマネージャの初期化に関するエラーメッセージが発生する。
AM8271685	生成用ドキュメントタイプのルートから数えて第1レベルにあるコレクションの構成要素しか、ServiceCenterコネクタによって取得されない。
AM1126205615	サービス名と実行するシナリオ間の関連付けが取得されない場合、「conit.ini」ファイルの完全パスが表示されなければならない。
AM9510154	複製された添付ファイルのコレクションは、ServiceCenterコネクタに無視される。
AM919114957	識別キーとして使用される要素の値が、LDAPコネクタにより更新される。
AM95175513	Asset Managementコネクタの任意管理項目フィールドに、識別キーを設置することができない。
AM81313561	データベースコネクタがSybaseデータベース内に日付を挿入する際に、エラーが発生する。
AM86193411	LDAPコネクタがカンマを含む値を挿入する際に、エラーが発生する。
AM612165811	Asset Managementコネクタを使用する複数のConnect-Itサービスを同時に起動すると、エラーが発生する。
AM85184716	Connect-Itがサービスモードで使用されていると、次回の起動日時は更新されない。
AM83085237	「mifxxx.txt」という空のファイルがnfraTools Desktop Discoveryコネクタにより作成され、Connect-Itの停止時にのみ削除される。
AM1031112754	取り込まれるドキュメントに1対Nのリンクが含まれていると、データベースコネクタはレコードの挿入や更新を実行できない。
AM9261597	ServiceCenter入力イベントに添付ファイルを挿入できる場合は、挿入しなければならない。

## バージョン3.1.0

欠陥番号	説明
AM412123221	XMLコネクタの実行中にメモリ漏れが起こる。
AM38181514	MySQLデータベースエンジンで、文字列に特殊文字が含まれていると処理エラーが発生する。
AM430185616	LDAP Netscape Directory Serverサーバのエントリの読み取り中に 【modifiedTimeStamp】フィールドが存在しないと、アプリケーションが遮断される。
AM521114350	subschemaSubentryエントリがDSEルートで定義されていないと、LDAPコネクタの自動記述に失敗する。
AM51517173	MAPIサーバ上で添付ファイルを含むEメールを読み取る際に、添付ファイルがConnect-It内でマップされていないと、処理エラーが発生する。
AM528145231	識別キーが指定されていないと、Action Request Systemサーバでのデータの書き込み時にエラーが発生する。
AM66183829	「Error receiving message (session 187644272)」のようなエラーメッセージが、MAPIサーバ上でEメールを読み取る際に発生する。
AM21817596	ServiceCenter内で添付ファイルを読み取る際にエラーが発生する。
AM422102533	XMLフォーマットのEメールを処理する際に、一般保護エラーが発生する。
AM514162821	Lotus Notesコネクタをスケジュールモードで起動するとエラーが発生する。
AM527125357	LDAPコネクタをスケジュールモードで起動するとエラーが発生する。
AM617224020	FTPサーバでの読み取り用に設定されたXMLコネクタで、エラーと成功の処理を適用するとエラーが発生する。
AM66194716	Eメールに添付ファイルが含まれていると、POP3ではメール本文が添付ファイルのリスト内に現れる。

欠陥番号	説明
AM52111910	ServiceCenterにイベントを挿入するとメモリ漏れが起こる。
AM417212628	サブフォームを含むフォームのフィールドを読み取る際にエラーが発生する。
AM27115731	VIMEメールのアクセント記号付きの文字は適切に取得されない。
AM41119241	XMLファイルの読み取り中にパフォーマンスの問題が発生する。
AM52144756	Eメールコネクタのドキュメントログを再読み込みできない。
AM42594320	Action Request Systemサーバに書き込む際にドキュメントが拒否されると、メモリ漏れが起こる。
AM423185128	MQSeriesコネクタはオフラインモードでは機能しない。
AM517163418	XMLリスニングコネクタに付属しているフィルタ条件が、マッピングボックスで正常に処理されない。
AM521155433	データベースコネクタが書き込みモードの時、PifIgnoreNodeMapping()Basic関数が複数の要素に呼び出されると、処理エラーが発生する。
AM326181146	Action Request SystemにNULL値を書き込むとエラーが発生する。
AM424144343	テキストコネクタの書式設定ファイルの設定時に、 <b>【第1行目は列のヘッダーを含む】</b> オプションを削除できない。
AM411192233	アポストロフを含む値をテキストコネクタが処理する際に、エラーが発生する。
AM53164223	ピボットドキュメントタイプを使用する一部のシナリオを非シリアル化する際に、エラーが発生する。
AM528195651	テキストコネクタのブラインドモードは、ソースドキュメントタイプに構造体が含まれていると機能しない。
AM525213632	大きなサイズのテキストファイルの処理中にパフォーマンスの問題が発生する。
AM68132648	Latin-2プラットフォーム上で「.fsf」を処理すると、コードページのエラーが発生する。
AM621165759	NTセキュリティコネクタの性能に問題がある。

欠陥番号	説明
AM65171558	ソースに値が含まれているにもかかわらず、Oracleネイティブ接続のデータベースコネクタはNull値を挿入する。
AM610154540	ビューが定義されていると、SMSコネクタはデータを生成しない。
AM42214650	マッピングを移動させるたびに、マッピング移動用のボタンが灰色になる。
AM627142154	Microsoft Excelファイルを読み取るように設定されたデータベースコネクタが、特殊文字を含むテーブル名を自動記述する際にエラーが発生する。
AM1115151826	DB2データベースに日付フィールドまたは日付と時刻フィールドを書き込むと、エラーが発生する。
AM319144942	<b>[ 現在の日付を上限として使用する ]</b> オプションがオンになっていると、一部のレコードはAction Request Systemによって取得されない。
AM625175448	POP3プロトコルのEメール本文に含まれているドイツ語文字は、適切に取得されない。
AM7411247	Lotus Notesサーバのパスワード選択用ウィンドウが、サービスが起動するたびに表示される。
AM71164349	Radiobutton型のフィールドは、Action Request Systemコネクタによって適切に処理されない。
AM7815813	VIMEメールの送信先リストは、適切に取得されない。
AM531124549	VIMプロトコルのEメールコネクタが、名前にドイツ語文字を含む添付ファイルを読み込むと、エラーメッセージが発生する。
AM79201447	AssetCenter 4.1データベースで「indac.scn」シナリオを実行するとエラーが発生する。

## バージョン3.0.1

欠陥番号	説明
AM11012185	XMLコネクタ：[第1レベルの各コレクションに使用可能なドキュメントタイプを発行する]オプションが選択されていると、生成用ドキュメントタイプのルート要素は、構造体の代わりにコレクションになる。
AM222152633	HTTPSプロトコルを使用すると、HTTPサーバへ送信されるデータが切り捨てられる。
AM218192110	ARSコネクタの設定ファイル内で定義されるテーブル間の結合は、適切に処理されない。
AM218153615	スケジュールのポインタの設定ページが、TECコネクタ（送信）とXMLリスニングコネクタのウィザード内に、間違って挿入表示される。
AM21915624	データベースコネクタが65000よりも多いドキュメントを処理すると、一般保護エラーが発生する。
AM1217133836	遡及アクションのマッピングがマッピングボックスから実行されているにもかかわらず、ターゲットコネクタの取り込み用ドキュメントタイプが表示される。
AM25113941	ServiceCenterコネクタの設定ウィザードで接続をテストすると、接続の確立に成功したかどうかが表示されない。
AM112716511	AssetManagementコネクタの典型的なリンクのプレビューが機能しない。
AM222133622	JDKまたはJREがクライアントコンピュータにインストールされていないと、Connect-Itの起動時にエラーメッセージが表示される。
AM21818715	データベースコネクタのネイティブSybaseで日付型のフィールドを挿入すると、エラーが発生する。
AM221152113	[第1行目は列のヘッダーを含む]オプションが有効になっていると、テキストコネクタを開くことができない。

欠陥番号	説明
AM72013565	マッピングスクリプト内のコメントが解析され、エラーメッセージを発生する可能性がある。
AM131193117	圧縮されたXMLファイルをコネクタが読み取ると、圧縮解除エラーが発生する。
AM219102712	NTセキュリティコネクタは複数のNTドメインを処理できない。
AM315154038	Asset Managementコネクタでは、NULLレコードで整合性チェックを実行できない。
AM222151211	2セッション間の <b>[ 前回の全ファイルに上書きする ]</b> モードは、FTPプロトコルと共に機能しない。
AM228152442	2セッション間の <b>[ 同じファイルの後に書き込む ]</b> モードは、FTPプロトコルと共に機能しない。
AM31211734	XMLファイルの読み取り中にパフォーマンスの問題が発生する。
AM311115053	MSSQL Serverエンジン用のデータベースコネクタにメモタイプのフィールドが挿入されると、適切に管理されない。
AM31111472	MSSQL Serverエンジン用のデータベースコネクタに日付タイプのフィールドが挿入されると、適切に管理されない。
AM36173525	シナリオのターゲットに2つの同一コネクタがあると、マッピングボックス内にコネクタ名が適切に表示されない。
AM25111428	ARSダイナミックライブラリがConnect-Itのディレクトリ内にないと、ARSコネクタを開くことができない。
AM1210121512	Asset Managementコネクタでメモタイプの一部のフィールドを読み取る際に、問題が発生する。
AM319111444	TECコネクタの設定ファイル内の親クラスで定義したフィールドの継承に、問題が発生する。
AM318163759	send2cit.shスクリプトは、Tivoli / TECの環境変数を正確に取得しない。
AM3511112	スケジュールのポインタに <b>[ 現在の日付を上限として使用する ]</b> オプションを使用すると、LDAPコネクタをスケジュールモードで起動する際にエラーが発生する。

欠陥番号	説明
AM31418508	AMOコネクタはスケジュールモードでは機能しない。
AM1211114017	アプリケーションを閉じると、処理情報を含むファイルが見つからなくなる。
AM38171352	圧縮されたXMLファイルの処理中にメモリ漏れが起こる。
AM3617382	ドキュメントタイプから生成されるDTDの複数の要素に、同じ名前が付いていると、DTDは無効になる。
AM810102427	FTPモードのテキストコネクタはIISサーバと共には機能しない。
AM1115151826	DB2データベースエンジン用に日付タイプのフィールドが挿入されると、エラーが発生する。

## バージョン3.0.0

欠陥番号	説明
AM1129174335	要素名にピリオド( . )が含まれていると、XMLファイルの処理エラーが発生する。
AM112720610	テキストコネクタ：ダブルクォーテーションマークで囲まれた文字列内の区切り文字は、自動的には無視されない。
AM1211436	ピボットドキュメントタイプ内に同名の要素が複数あると、処理エラーが発生する。
AM1130101519	Oracleネイティブで、「Integer」タイプの処理エラーが発生する。
AM122012101	サービスモードでのNotesパスワードの入力用ウィンドウの表示
AM1122143538	HTTPSプロトコルはXMLコネクタにサポートされていない。
AM12594642	リンクのみがマップされると、リンクレコードはAssetCenterで作成されない(例：アプリケーションは「iddac.scn」シナリオ内にインポートされない)。
AM24114030	AMOコネクタは予期されるレコードの一部しか取得しない。

欠陥番号	説明
AM2112558	AMOコネクタが生成する際、「テーブル 'INFOTXTs16' のエイリアスは、既にクエリに入っています。」というエラーメッセージが発生する。
AM11012185	[ 第1レベルの各コレクションに使用可能なドキュメントタイプを発行する ] オプションを使用して読み取りモードでXMLコネクタを設定し、このコネクタと共にマッピングを作成すると、「ソースコレクションの各構成要素をターゲットコレクションの構成要素にマップする場合、「コレクションからコレクション」のマッピングを実行する必要があります。」という警告メッセージが表示される。
AM18114228	PifGetStringVal関数がコレクションの子要素に適用され、パラメータに使用されるパスがコレクションを参照している場合、この関数は機能しない。
AM18124153	XMLコネクタの書き込みモードでの設定で、オプション [ 第1レベルの各コレクションに使用可能なドキュメントタイプを発行する ] が選択されていると、使用可能なドキュメントタイプが無効になる。
AM1120235846	PifIgnoreNodeMapping関数は、コレクション型の要素に適用されていると機能しない。
AM1218163634	コネクタのログは、ログが再び読み込まれても更新されない。
AM1218163741	「log.」ファイルの最大サイズを指定するオプションは適用されない。
AM121816346	ファイル名の代わりに完全パスがドキュメントログ用に入力されていると、シナリオは起動しない。
AM32217226	「sc.ini」または「sc.log」ファイルが存在しないと、UNIXの一般保護エラーが発生する。
AM1110103529	一部の日本語FSFファイルの処理中にエラーメッセージが発生する。
AM1017154159	複数のルートを定義するDTDが不正に処理される。

欠陥番号	説明
AM1210132416	データベースがSQLクエリ "Select GetDate()" をサポートしない場合に自動再接続オプションが有効になっていると、アプリケーションは応答しない。
AM1120184234	Action Request System ®サーバへの接続が切断されると、コネクタは自動的に再接続しない。
AM1030144327	Action Request System ®コネクタがスケジュールモードで起動すると、日付フォーマットにエラーが発生する。
AM126191528	Connect-ItとServiceCenterサーバ間の時間差はコネクタを開く時点でのみ決定され、各新規セッション時には時間差は決定されない。
AM130195350	Action Request System ®内での書き込み中に、添付ファイルのファイル名が識別キーとして使用されると、エラーメッセージが発生する。
AM122135431	Action Request System ®のフィールド名が '#' で終わる場合、エラーが発生する。
AM11012115	AssetCenterで必須として設定されているリンクタイプの任意管理項目を更新できない。
AM11618448	SQL Unicodeデータタイプは、MS SQL Serverデータベースエンジン用にはサポートされていない。
AM912142929	[ Eメール取得後に開封済みのフラグをつける ] オプションはMAPIでは機能しない。
AM66172618	ピボットマッピングボックスの位置は保存されない。
AM1016184620	表示される日付は、Connect-Itが実行されるコンピュータのタイムゾーンに応じて調整されない。
AM213194826	整合性オプション [ 更新のみ ] が選択されている場合、コレクションの整合性チェックのアクションが [ 削除 ] モードで有効になっていると、Asset Managementコネクタは、レコードが存在しなくてもテーブル内のレコードを全て削除しようとする。

欠陥番号	説明
AM1117113538	ソースコネクタで使用されるドキュメントタイプが変更されても、旧ドキュメントタイプでマップされたフィールドが常に青色で表示される。

## バージョン2.7.1

欠陥番号	説明
AM102484018	バージョン2.60の「indsc.scn」シナリオは、Connect-Itで再読み込みされた後破損する。
AM102314245	InfraTools Network DiscoveryコネクタのFULL_DEVICEドキュメントタイプのスケジュールのポイントは更新されない。
AM1017192929	スケジュールのポイントは、Asset Managementサーバとの時間差を適切に管理しない。
AM1031174740	オプション [ 第1レベルの各コレクションに使用可能なドキュメントタイプを発行する ] が選択されていると、Connect-Itは、XMLファイルの読み取り時に一般保護エラーを発生することがある。
AM116232231	Connect-It2.60またはそれ以下のバージョンで作成されたInfraTools Desktop Discoveryシナリオを、Connect-It上で実行すると、「マップテーブル 'IddNullValue' は存在しません。」というエラーメッセージが表示される。
AM102474957	Lotus Notesコネクタ用のデフォルトのスケジュールポイントがない。
AM115172938	Oracle7.3.4.サーバ上ではOracleネイティブ接続を実行できない。
AM116181031	データベースコネクタが書き込み時に識別キーとして使用するフィールドが更新される。
AM11215436	Action Request Systemコネクタの設定ウィザード内では、ポート番号を指定できない。

欠陥番号	説明
AM1030144327	Action Request Systemコネクタのスケジュールのポインタが使用する日付フォーマットは無効である。
AM117152948	XMLファイルを元のフォルダに保存するようにXMLコネクタを設定する場合、スケジュールのポインタはない。

## バージョン2.70

欠陥番号	説明
AM67105551	LDAPコネクタの接続が切断しても、自動的に再接続しない。
AM51411458	マップテーブルで漢字が使用されていると、マップテーブルは正常に読み込まれない。
AM82182950	データベースへの挿入時に文字列が切り詰められても、データベースコネクタは警告メッセージを生成しない。
AM831101527	ServiceCenterコネクタでキャッシュを使用すると、一般的な保護エラーが発生する。
AM108191655	SQLクエリがOracleで「Length()」または「DataType()」関数を呼び出すと、SQLクエリが無効になる。
AM105121752	シナリオの実行中にログの設定を変更すると、一般的保護エラーが発生する。
AM925131344	null値の日付は、データプレビュー用ウィンドウとドキュメントログでは正常に表示されない。
AM919161534	Asset Managementコネクタに挿入される日付型のフィールド値が1901-2038の期間外の場合、一般的な保護エラーが発生する。
AM10223191	指定されたDTDが無効でもXMLコネクタが正常に開く。
AM82215247	テキストコネクタを用いてFTPサーバ上で読み取りを実行すると、"There is already an FTP request in progress on this session" というエラーが発生する。

欠陥番号	説明
AM71617930	InfraTools Network DiscoveryコネクタがUNIXでデータを生成すると、"Error reading on socket 5 errno=146" というエラーメッセージが多数発生する。
AM101102523	XML属性がターゲットにマップされると、値は常にnullになる。
AM329204157	InfraTools Desktop Discoveryコネクタのマッピングで使用されている要素が、コネクタの設定内で指定されていないと、警告メッセージが表示される。
AM925143516	文字列タイプの要素が整数にマップされると、エラーメッセージなしに「0」の値が割り当てられる。
AM91393942	スケジュールのポインタ管理は、Asset ManagementサーバとConnect-It間の時間差を考慮に入れない。
AM829114810	Asset Managementコネクタ用にコレクションの整合性チェックを実行すると、「PifIgnoreNodeMapping」関数がコレクション要素に適用されない。
AM611181556	マッピングボックスでドキュメントタイプを削除すると、シナリオの起動時に一般的な保護エラーが発生する。
AM32785831	Asset Managementコネクタでは、「姓名」(fullname)での整合性チェックを適切に実行できない。
AM313175022	XMLコネクタとテキストコネクタの「ファイルに上書きする」というモードは機能しない。
AM92417436	オプションではヘルプ用の文字列がない。
AM6715937	キュー内のドキュメントの一部は、MQSeriesコネクタに処理されない。
AM7311820	Asset Managementコネクタに取り込まれるドキュメント内で識別キーを有効にすると、一般的保護エラーが発生する。
AM918164236	ユーザがLDAP Active Directoryスキーマに追加した属性がConnect-Itで表示されない。
AM919122544	XMLコネクタが、書き込みモードで属性コレクションを適切に管理しない。
AM22321017	XMLコネクタとテキストコネクタが読み取るファイルの作成日と変更日が提供されない。

欠陥番号	説明
AM530154644	XMLコネクタ、テキストコネクタ、およびMQSeriesコネクタは、空のファイルが読み取りモードで処理される場合に、メッセージを表示しない。
AM37143458	[1つのファイルにドキュメントを書き込む]オプションが選択されていると、XMLコネクタにより書き込みモードで生成されたDTDが無効である。
AM515103930	ドキュメント内で値が欠けていると、データベース内にNULL値を挿入できない。
AM315154038	Asset Managementコネクタでは、NULLレコードでの整合性チェックを実行できない。
AM94152659	Basicスクリプトで\$ParentDoc\$を使用できない。
AM9318211	UNIXでconfig / ODBCディレクトリがインストールされない。
AM71911116	一定の無効なFSFファイルがサービスモードでエラーウィンドウを表示する。
AM8111926	データベースコネクタでネイティブOracleの接続が指定されると、文字「\$」を含むフィールド名が適切に処理されない。
AM7181214	LANDeskインベントリコネクタの性能に欠陥がある。
AM813122019	LDAPクラスで定義された属性がサブクラスのみでしか表示されない。
AM817102037	データベースコネクタが、Oracleで接頭文字「owner」をサポートしない。
AM1227163129	データのプレビュー用ウィンドウが、生成されたデータに関連付けられたメッセージを表示しない。
AM88215338	Asset Managementコネクタのリンク型の任意管理項目が、書き込みモードで作成されない。
AM74113747	データベースコネクタをNovell Directory Serviceに接続すると、Connect-Itで一般的な保護エラーが発生する。
AM719163418	マッピングボックスの[キャンセル]ボタンを使うと、シナリオのステータスが「変更済」に変わり、ドキュメントログの内容が削除される。

欠陥番号	説明
AM718152752	テキストコネクタのドキュメントを再び読み込むと、エラーメッセージが発生する。
AM710121831	Excelファイルに対してODBC接続を実行するとエラーが発生する。
AM7215581	プロパティ「Search DN」とプロパティ「Search Scope」の値がデフォルト値でない場合、LDAPコネクタを含むシナリオを再び読み込めない。
AM42692611	LDAPサーバのデフォルトのフィールド（modifyTimestamp、createTimestamp、など）が表示されないことがある。
AM41720922	UNIXプラットフォームで作成されたFSFファイルが拒否される（エラーメッセージが発生する）。
AM31692510	InfraTools Desktop Discoveryコネクタのバージョン要素の値が、FSFフォーマットの要素の値に対応する。
AM619135123	LDAPコネクタがLDAP Notesのサーバに接続すると、エラーが発生する。
AM9518947	VIMプロトコルでは、メッセージを読んだ後でもそのメッセージがサーバから削除されない。
AM723114635	LDAPコネクタでページ編集機能がサポートされない。
AM31181853	Basic関数「PifCryptPassword」と「PifRevCryptPassword」が使用不可能である。

## 履歴 - バージョン2.60

欠陥番号	説明
AM54183167とAM51795010	マッピング中にフィールドから0.001秒が減算される。
AM515112948	処理レポートを使用するシナリオの起動時にエラーメッセージが発生する。
AM491655	タイムスタンプ（時刻表示）に基づいたスケジュールが、MSSQL ServerとSybase SQL Serverでは機能しない。

欠陥番号	説明
AM32194718	テキストコネクタのスケジュールモードでは、ポインタ値が更新されない。
AM42618335	MAPIのメールサーバからメールが削除されない。
AM21753457	Informixでの外部結合がない。
AM31416199	Oracleに存在しないテーブルに関連したインデックスがあると、自動記述に失敗する。
AM43171557	文字列が最大サイズに達すると、ネイティブOracleでは文字列の最後の文字が削除される。
AM424115653	LDAPコネクタではメモリ漏れが起こる。
AM423144216	ServiceCenterのバージョン番号が非シリアル化されない。
AM515104952	「日付 + 時刻」型のフィールドをMSSQL ServerとOracleで識別キーとして使用すると、エラーメッセージが発生する（データベースコネクタ）。
AM2910109	プレビューモードでは、全てのレコードが取得されても、「+」アイコン（新規ドキュメントの表示用に使用される）が灰色にならない。
AM228145120	<b>【停止】</b> ボタンを押してもテキストコネクタを停止できない。
AM19103416	Asset Managementコネクタ用の「category.str」ファイル内の問題
AM1121591	InfraTools Desktop Discoveryコネクタではデータのプレビューを実行できない。
AM1218171825	スケジューラ、スケジュール、マップテーブルとグローバル関数は <b>【シナリオ】</b> メニュー内にあるべきである。
AM32820155	認証証明書で有効にされていないコネクタが、デフォルトで表示される。無効なコネクタ名は表示されるべきでない。
AM4916518	データベースコネクタで、大文字小文字の区別の検出機能に欠陥がある。
AM1121278	データプレビューでカウンタが必要になる。
AM515103930	Connect-Itドキュメント内で値が欠けていると、データベース内にNULL値をインポートできない。

## バージョン2.51

欠陥番号	説明
AM112175548	データベース記述ファイルがデータベースコネクタに関連する場合に、一般的な保護エラーが発生する。また、ゲートウェイがデフォルトのパスと一致しない。
AM111175830	コネクタの説明内に翻訳されていない文字列がある。
AM112114915	ドイツ語のAsset Managementカテゴリ定義ファイル内のエラー
AM115173157	サポートされていないデータベースタイプを処理するデータベースコネクタを含むシナリオを、開くことができない。SybaseとMSSQL Serverエンジン用に「nchar」と「nvarchar」タイプのサポートが追加されている。
AM117155843	「sms1am.scn」シナリオがスケジュールモードで起動すると、エラーメッセージが発生する。
AM11816101	ネイティブOracleサポートを含むデータベースコネクタが数回開かれると、「ネイティブOracle」エントリが複製される。
AM215101641	MSSQL Serverエンジン用の「uniqueidentifier」データベースタイプのサポート
AM37132021	マッピングボックスまたは遠隔コネクタ内でエラーが発生しても、「.fsf」ファイルが処理成功用のフォルダに移される。
AM322212653	複数のInfraTools Network Discoveryコネクタが同一のシナリオ内で使用されていて、コネクタが「FULL_DEVICE」ドキュメントタイプのみを処理する場合、スキャンが完全に終了しても、1番目のコネクタのスケジュールポイントしか自動的に0に戻らない。他のコネクタでは次回の起動時に「device」が全く取得されない。
AM227191154	テキストコネクタ用の書式設定ファイル作成用ウィザードと、テキストコネクタとXMLコネクタ用のURL選択部分がフランス語になっている。

欠陥番号	説明
AM39154441	Oracleネイティブでの「char」データベースタイプのサポート

## バージョン2.50

欠陥番号	説明
AM929115852	コネクタがスケジュールなしで起動すると、InfraTools Network Discoveryドキュメントに関連するスケジューラのポインタが上書きされる。
AM929115632	[ EventID ] フィールドを含むInfraTools Network Discoveryコネクタにフィルタをかけられない。
AM811183149	InfraTools Desktop Discoveryコネクタの「Hardware.FSF.FSFDate」要素は「日付 + 時刻」型の代わりに「日付」型のデータになり、フォーマットが短い形式の日付の代わりに長い形式の日付になる。
AM101695026	FSFファイルがInfraTools Desktop Discoveryコネクタにより拒否され、次の様なエラーメッセージを表示する：「タイプの不一致が要素 'XXX'(パス 'YYY' 内)にあります。学習モードではパスをドキュメントタイプに追加することができません。」
AM1020111942	InfraTools Desktop Discoveryコネクタの「File.Modified」要素が国際標準形式の日付の代わりに、ローカル形式の日付として処理される。
AM103183150	ServiceCenterで出力 ("output" ) イベントが定義されていないと、ServiceCenterコネクタを起動できない。
AM92811925	SMSコネクタがインストールされる時、SMS 1.XコネクタとSMS 2.Xコネクタ両方がインストールされているにも関わらず、「SMS 2.Xコネクタがインストールされた」というメッセージが表示される。
AM928111442	SMSコネクタに関連するシナリオが、Connect-Itの基本インストール中にインストールされる。

欠陥番号	説明
AM101020133	LDAPコネクタの接続ごとに「SEARCH DN」リストが空にならない。
AM1011105959	イベントがServiceCenter内に挿入される度に、「SCEventStrNewは、イベントタイプ'siswu'用のINPUTマップを見つけられません」の様なエラーメッセージが、DLL「sccl32.dll」に関連付けられたServiceCenterクライアントのログファイル内に書き込まれる。
AM1013104324	新規に作成されるサービスの名前が、既存のサービスの名前に一致する場合、警告メッセージなしで既存のサービスを削除し上書きしてしまう。エラー修正済み。
AM111092730	自動インストール (autorun.inf) は、追加コネクタでは機能しない。
AM1110103529	日本語のOS上で生成されるFSFの処理中に「無効な行'...'が287行目にあります」の様なエラーメッセージが発生する (日本語版Connect-It)。
AM1110153552	複数のコレクション (FULL_DEVICE.Ports.Port.Attributes.Attribute.AttributeDescription) 内の1コレクションに含まれる要素が、InfraTools Network Discoveryコネクタに取得される際、エラーメッセージが発生する。
AM1129151143	テーブルの所有者が、データベースコネクタの基本設定内で指定されたログインと同一でない場合、データベースコネクタはエラーを発生する。テーブルの自己記述は適切に実行されるが、データは読み取られない。
AM12582829	Windowsセッションが終了するとNTサービスが中断される。
AM121492916	フィールド名がテーブル名と同一の場合、データベースコネクタが読み取りエラーを発生する。
AM1317120	UCase関数がu、o、aの文字を大文字に変換しない。

欠陥番号	説明
AM1314286	デフォルトのシナリオ「iddac.scn」では、[ amSoftInstall ] テーブルに関連して「リンク '...' 用の値が見つかりません」の様なエラーメッセージが発生する。コレクション「amSoftInstall」の代わりに、構造体「software」上にフィルタが置かれていた。
AM1210173046	[ キャッシュファイルを使用する ] オプションが選択されている場合、InfraTools Network Discoveryコネクタを開くと、「/nm/welcome/ ページを読み込めません」というエラーメッセージが発生する。
AM1128135844	「iddac.scn」シナリオのAsset Information マッピングが、要素 "Hardware.PhysHD" の代わりに 要素 "Hardware.Phys_HD" を参照している。
AM1219102622	デフォルトのSMSシナリオでは、各資産ごとにソフトウェアが1つしか作成されない。
AM15113417	FSFからInfraTools Desktop Discoveryコネクタにより抽出されたデータ内で、ソフトウェアのディレクトリ ( Software.ProductDirectory要素 ) が間違っていることがある。
AM928112713	新規シナリオが開かれる際、その前のシナリオが開かれていないSMSコネクタを含んでいると、一般的な保護エラーが発生する。

## バージョン2.10

欠陥番号	説明
AM831144738	Asset Management - ServiceCenterシナリオは複合製品を処理しない。
AM831183832	ServiceCenterの出力イベントのスケジュールが機能しない。
AM831144913	挿入では、ServiceCenterのエラーメッセージのステータスが「エラー」でないと、メッセージは表示されない。
AM831152652	Asset Management<->ServiceCenterシナリオにはデフォルトのスケジュールがない。

欠陥番号	説明
AM825123820	InfraTools Desktop Discoveryコネクタは、マップされたドライバを認識しない。
AM92615919	従属コレクションはマッピングに適切に処理されない。
AM811183149	IDDコネクタのFSF日付のフィールドが、日付としてでなく文字列として処理される。
AM84172847	Asset Management<->ServiceCenterシナリオの、「device」マッピングでは [ カテゴリ ] フィールドを使用できない。
AM91511153	Asset Management<->ServiceCenterシナリオは、Request Managementを不正に処理する。

## 4 | お問い合わせ先

---

Connect-Itの本バージョンに関するご質問は、ペレグリンシステムズのカスタマーサービス用Webサイト (<http://support.peregrine.com>) で承っております。

このWebサイトにアクセスするには、有効なログインとパスワードが必要になります。

または、下記の最寄りのカスタマーサポートまでお問い合わせください。

### 北米、南米、アジア / 太平洋諸国

電話番号 : +(1) (800) 960 9998 (米国内でのみ無料ダイヤル)

+ (1) (858) 794 7402

ファックス : +(1) (858) 794 6028

Eメール : [support@peregrine.com](mailto:support@peregrine.com)

本社 : Peregrine Systems, Inc.

Attn: Customer Support

3611 Valley Centre Drive

San Diego, CA 92130

### ヨーロッパ、アフリカ

電話番号 : (0) (800) 834 770 (英国内でのみ無料ダイヤル)

+(44) (0) (02) 8334-5844

ファックス : +(44) (0) (02) 8334-5890

Eメール : [uksupport@peregrine.com](mailto:uksupport@peregrine.com)



